

海外日本語教師教授法研修(夏期/冬期) 申請要領

1 趣旨

本プログラムは、海外の日本語教育機関の教師養成のため、日本語教師として2年以上の教授経験を持つ日本語教師を対象に、日本語教授能力の向上及び異文化理解能力の養成を目的として、研修を行います。実施は夏期と冬期の2回です。日本語運用力の向上を目指す「日本語」の授業は行いません。

また、本研修では、中南米地域の日系人対象の日本語教育機関で教える日系人日本語教師向けに、特別条件を設けています。詳細は2ページをご参照ください。

2 プログラム概要

(1) 期間

研修は次の二つの時期にそれぞれ行います。なお、希望通りの時期で採用されない場合もあります。

[夏期]: 2020年7月7日～8月20日(予定)

[冬期]: 2021年1月13日～2月26日(予定)

(2) 実施場所

国際交流基金日本語国際センター(埼玉県さいたま市)

(3) 研修内容

ア 日本語教授法

教師としての専門性の向上を目指して、日本語の資料を読んだり日本語でディスカッションをしたりしながら、日本語教授法に関する知識の導入・整理・拡充を行います。さらに、参加者各自の現場を振り返り、その課題解決に向けて研修内容を活かした改善案を検討します。授業では、日本語で書かれた文献や資料を読んだり、日本語でディスカッションをしたりします。

イ 日本文化/日本事情

日本語教育の一環としての文化紹介や異文化理解教育の内容と方法を考えるために、講義やワークショップを行います。また、将来、日本への留学や就職を希望する学習者に情報提供ができるよう、教育機関や企業等を視察したり、関係者から話を聞いたりする授業もあります。

(4) 採用予定人数

約72名(夏期・冬期合わせて)

3 申請資格

海外で日本語教育を行う教育機関(個人からの申請は受け付けません)。また、参加候補者は、次に掲げる要件を全て満たしていなければなりません。

※対象地域: 全世界(中国(香港・マカオ地域以外)の中等教育機関(中学校・高等学校)は対象外です。)

- (1) 申請機関と雇用関係にある日本語教師で、帰国後も当該機関に引き続き勤務することが決定していること。なお、申請時点で日本語教師として教育実習中の者は対象としません。
- (2) 日本と国交のある国の国籍を有すること。 ※台湾の方も申請可能です。
- (3) 日本の義務教育(小学校・中学校9年間)を修了していないこと。
- (4) 2019年12月1日時点で、55歳以下を優先。
- (5) 心身ともに研修プログラムへの参加に支障がない状態であること。
- (6) 2019年12月1日時点で、2年以上の日本語教授年数を持つこと。(個人教授及び教育実習の期間は除きます。)
- (7) 日本語運用力につき、申請時点で下記のいずれかを満たしていること。
 - ア 日本語能力試験N3程度以上、又は旧日本語能力試験2級程度以上(*1)
(日本語能力試験の各レベルの認定の目安は日本語能力試験公式ウェブサイトの「N1～N5: 認定の目安」<https://www.jlpt.jp/about/levelsummary.html>を参照)
 - イ JF日本語教育スタンダードでB1レベル以上

(JF 日本語教育スタンダードの各レベルの認定の目安は JF 日本語教育スタンダード公式ウェブサイト「JF スタンダード資料 2.レベル基準が知りたい」https://jfstandard.jp/pdf/whole_standard.pdfを参照)

- (8) 2014年4月から2019年12月1日までに国際交流基金、日本の大学等において1か月以上の日本語教師研修を受講していないこと。ただし、「海外日本語教師長期研修」において、「日本語国際センター所長賞」を受賞した方に対しては、本制限条項の適用を免除します。該当者は申請書提出の際に、所長賞受賞通知のコピーを添付してください。

【日系特別条件について】

次の要件に該当する機関及び個人については、特別条件が適用されます。

申請資格対象国（アルゼンチン、ウルグアイ、キューバ、コロンビア、チリ、ドミニカ共和国、パラグアイ、ブラジル、ベネズエラ、ペルー、ボリビア、メキシコ）で日系人を対象に日本語教育を行う教育機関。また、参加候補者は、次に掲げる要件を全て満たしていなければなりません。

- ア 申請機関と雇用関係にある日本語教師で帰国後も当該機関に引き続き勤務することが決定していること。なお、申請時点で日本語教師として教育実習中の者は対象としません。
 - イ 対象国若しくは日本の国籍を有し、生活の基盤が対象国にあること。
 - ウ 日本からの海外移住者又はその子孫（おおむね日系3世まで）であること。
 - エ 2019年12月1日時点で、55歳以下を優先。
 - オ 心身ともに研修プログラムへの参加に支障がない状態であること。
 - カ 2019年12月1日時点で、1年以上の日本語教授年数を持つこと（個人教授及び教育実習の期間は除きます）。
 - キ 日本語能力については、「3.申請資格（7）」をご覧ください。
 - ク 2014年4月から2019年12月1日までに国際交流基金、日本の大学等において1か月以上の日本語教師研修を受講していないこと。
- ※ 日本の義務教育（小学校・中学校9年間）修了者も対象となります。

4 支給内容

- (1) 宿舎（国際交流基金日本語国際センター内のシングルルーム）
- (2) 研修期間中の食事（一部は現金支給）
- (3) 研修に参加するための必要経費（教材等を現物で支給）
- (4) 研修参加に必要な期間中の疾病及び傷害に対する海外旅行保険の付保（補償額の上限あり。既往症や歯科治療等は当該保険の適用対象外）。
- (5) [表1]に掲げる地域にある申請機関に所属する方については、以下ア～ウを国際交流基金が負担します。[表1]以外の地域、及び例外欄に記載のある国・地域に所属機関がある方は、参加者本人の負担となります。
 - ア 往復航空券（エコノミークラス割引運賃、居住地最寄り国際空港発着）
 - イ 出国税・空港利用税
 - ウ 研修補助費（来日中の自主研修に必要な公共交通機関の交通費等を現物で支給）

[表1]

地域	例外の国・地域
アジア・大洋州地域	ただし、韓国、台湾、香港、マカオ、シンガポール、ブルネイ、オーストラリア、ニュージーランドを除く
中南米地域	ただし、セントクリストファー・ネイビス、トリニダード・トバゴ、バハマ、バルバドスを除く
東欧地域	(例外なし)
中東・北アフリカ地域	ただし、アラブ首長国連邦、イスラエル、オマーン、カタール、クウェート、サウジアラビア、バーレーンを除く
アフリカ地域	(例外なし)

5 審査方針

当該国・地域・機関での日本語教師研修の必要性、申請機関が「さくらネットワーク」の認定機関であるか、

候補者の日本語運用力、教授経験の他、候補者のポジション（専任/非専任）、影響力等の観点から審査します。
 ※ 「JFにほんごネットワーク（さくらネットワーク）」については、以下のウェブサイトを参照してください。<https://www.jpf.go.jp/j/project/japanese/education/network/>

6 申請手続

(1) 申請書

ア 申請書フォーマットは、以下のウェブサイトから入手可能です。

<https://www.jpf.go.jp/j/program/index.html>

イ 申請書は全部で10ページです。申請書の原本とそのコピー1部を、それぞれホッチキス留めをして、提出してください。申請書に不備がある場合は、審査対象とはなりませんので注意してください。

(2) 申請書類提出先と締切

2019年12月2日（必着）

最寄りの国際交流基金海外拠点、又は日本国大使館や総領事館等の在外公館に提出してください。台湾は、（公財）日本台湾交流協会の台北事務所に提出してください。

(3) 申請書類の受理通知

申請書類の受理通知を希望する場合は、はがきに返信用切手を添付の上、住所、氏名、プログラム名、受理通知を希望する旨を記載して、申請書に同封してください。国際交流基金海外拠点若しくは日本国大使館や総領事館等の在外公館の担当者が申請書類を受理したことを証するために、署名して返送します。ただし、返信用切手が貼っていないもの、必要事項が記載されていないものは返送できませんので、ご注意ください。

(4) 留意事項

ア e-mailやFAXでの申請書類の提出はお受けしていません。

イ 提出された申請書類は返却いたしません。申請書類を提出する際には、必ず申請者用のコピーをお手元に残しておいてください。

ウ 申請書類提出後、記入内容に変更が生じた場合には、速やかにお知らせください。

エ その他、留意事項は5ページ「申請書作成時の注意点」をご覧ください。

7 結果通知

(1) 国際交流基金日本語国際センターで審査を行い、2020年4月中に結果を各申請者に通知します。

(2) 採否理由等についてのお問合せには一切応じられませんので、ご了承ください。

8 研修参加者の義務

研修参加者は以下の条件を守らなければなりません。

(1) 日本滞在中は日本国法令を守ること。

(2) 研修に専念し、日本滞在を他の目的（宗教的あるいは政治的目的等）に利用しないこと。

(3) 研修参加者は、集団での研修に参加することを前提に招へいされたことを理解し、国際交流基金日本語国際センターの指示に従って、全ての研修活動に参加すること。

(4) 研修期間の開始より前に来日しないこと。

(5) 研修期間中に一時帰国や第三国への旅行をしないこと。

(6) 国際交流基金日本語国際センターが滞在延長を許可した場合を除き、研修期間が終わり次第、直ちに帰国すること。

(7) 家族を同伴しないこと。

9 事業に関する情報の公開

(1) 採用された場合、申請者・団体の名称、事業の概要等の情報は、国際交流基金事業実績、年報、ウェブサイト等において公表されます。

(2) 「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律」（平成13年法律第140号）に基づく開示請求が国際交流基金に対してなされた場合には、同法に定める不開示情報を除き、提出された申請書類は開示されます。

10 個人情報の取扱い

以下の内容を、申請機関から候補者及び申請書に個人情報が記入されている者にお伝えくださいますようお願いいたします。

- (1) 国際交流基金は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」（平成15年法律第59号）ほか、各国・地域等の個人情報保護にかかわる法律を遵守し、個人情報を取り扱う際には、適正な収集・利用・管理を行います。国際交流基金の個人情報保護への取組については、以下のウェブサイトをご覧ください。
 (和) <https://www.jpf.go.jp/j/privacy/> (英) <https://www.jpf.go.jp/e/privacy/>
- (2) 申請書及び添付書類に記入された情報は、採否審査、事業実施、事後評価等の手続のほか、次のような目的で利用します。
 - ア 研修参加者の氏名、性別、職業・肩書、所属先、事業期間、事業内容等の情報は、研修実施案内に公表するほか、国際交流基金の事業実績、年報、ウェブサイト等の公表資料への掲載、統計資料作成に利用されます。また、国際交流基金事業の広報のため、報道機関や他団体に提供することがあります。
 - イ 採用者の居住する国の日本国大使館・総領事館等の在外公館及び日本国外務省にも、査証発給のため、これらの情報を提供することがあります。
 - ウ 申請書、添付書類及び事業報告書・成果物などは、採否審査、事後評価等のため、外部有識者等の評価者に提供することがあります。提供する際、評価者の方には、個人情報の安全確保のための措置を講じていただくようにしています。
 - エ 事業終了後に、本件事業に関するフォローアップのためのアンケートをお願いする場合があります。
 - オ 記入される連絡先に、他の国際交流基金事業についてご連絡を差し上げることがあります。
- (3) 国際交流基金に提出された事業報告書・成果物などは、国際交流基金事業の広報のため、公開することがあります。
- (4) 研修実施のため、渡航手配や研修プログラムに協力を得る関係者（保険会社及びその代理店、航空会社、自治体等）に、必要な範囲で情報を提供します。
- (5) 本研修に応募された方は、上記の個人情報の取扱いに同意したものとみなします。

11 問合せ先

(1) 担当部署

日本語国際センター教師研修チーム Tel. +81-48-834-1182 Fax. +81-48-834-1170

e-mail: urawakenshu@jpf.go.jp

(2) 海外からの申請

申請に先立ち、必ず最寄りの国際交流基金海外事務所に電話、E-mail等で、申請書提出先や申請資格の確認を行ってください。国際交流基金の海外事務所が所在しない国においては、日本国大使館・総領事館等の在外公館にご連絡ください。

ア 国際交流基金海外事務所：<https://www.jpf.go.jp/j/world/index.html>

イ 日本国在外公館一覧：<https://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/zaigai/list/index.html>

12 その他備考

本公募研修以外に、非公募による国・地域別日本語教師研修として、当該国政府、国際交流基金海外拠点、日本国大使館や総領事館等の在外公館等からの推薦により参加を決定する以下の研修も実施しています。詳細については、各国の国際交流基金海外拠点にお問い合わせください。

- (1) 「大韓民国中等教育日本語教師研修」
- (2) 「中国中等教育日本語教師研修」

申請書作成上の注意

- 1 人名は、パスポートの表記に合わせてご記入ください。パスポートをお持ちでない方については、運転免許証等、当該国における公的な身分証明書の表記に合わせてください。
- 2 申請書はタイプ又は黒のボールペンを用いて活字体で記入してください。
- 3 申請書は、「英語」や「原語」等の指示があるところ以外は日本語で記入してください。また、記入にあたって「候補者」部分は、候補者が他の人の助けは借りず、自分の力だけで書いてください。

以上

令和 2 (2020) 年度用
For FY 2020

**海外日本語教師教授法研修
申請書**
**Japanese Teaching Methods Program
for Teachers of the Japanese Language Application Form**

国際交流基金日本語国際センター所長殿 年 月 日
To the Executive Director of the Japan Foundation Japanese-Language Institute, Urawa Year Month Day

私は令和 2 年度海外日本語教師教授法研修に下記の者を参加させたく申請いたします。
I hereby recommend the person named below to participate in the 2020-2021 Japanese Teaching Methods Program for Teachers of the Japanese-Language.

機関名 代表者の名前
Name of Institution **Name of the Representative of the Institution**

代表者署名
Signature of the Representative of the Institution

希望する研修のコース Desired Course
() に優先順位の番号 (1, 2) を書き入れてください。希望通りの時期で採用されない場合もあります。
Please indicate the order of your preference (1 or 2). Please note that the Institute may be obliged to offer a course other than your preference.
() 夏期 Summer Course () 冬期 Winter Course

日系特別条件を使って申請する方は、() に✓を入れてください。
*申請要領「3 申請資格」を参照
Please check ✓ if you apply for the special condition for Japanese descendants.
*Refer to the Application Instructions "3 Eligibility"
Please check ✓ if you apply for the special condition for Japanese descendants.
() 日系特別条件 Special condition for Japanese Descendants

1. 候補者について Information about the candidate

名前 Name	漢字又はカタカナ In Kanji or Katakana	姓	名
	英語 In English alphabet	Last Name	First Name
	パスポートに記載の表記 Name as written on your passport in English alphabet		
性別 Sex		国 Nationality	
生年月日 Date of Birth	年 月 日 Year Month Day	年齢 Age	2019年12月1日現在 As of December 1, 2019 歳 years old

連絡先 (ローマ字) Contact (in English alphabet)	
住所 Address	
Tel.	FAX. e-mail

	所属日本語教育機関名 Name of the Affiliated Institution	部門名 Faculty/ Department/ Program, etc.	地位 Position	専任/非専任 Full time or Part time
漢字又はカタカナ In Kanji or Katakana				<input type="checkbox"/> 専任 (Full time) <input type="checkbox"/> 非専任 (Part time)
英語 In English				
原語 In Native Language				

所属日本語教育機関住所
Address of Affiliated Institution

Tel. FAX.

機関 ID
ID of affiliated institution _____

※ 日本語教育機関検索データベース (<https://jpsurvey.net/jfsearch/do/index>) にて所属機関の機関 ID を確認の上、記入してください。所属機関が同データベースへ未登録の場合は記入不要です。
 * The ID of affiliated institution can be found on the "Search engine for institutions offering Japanese-language education" (<https://jpsurvey.net/jfsearch/do/index>). No need to fill this column if your affiliated institution is not registered on the "Search engine".

最終学歴 Last school attended	機関名 Name of institution		取得地 Location		
	取得年 Year of completion	学位 Degree conferred	<input type="checkbox"/> 学士(Bachelor) <input type="checkbox"/> 修士(Master) <input type="checkbox"/> 博士(Doctor) <input type="checkbox"/> その他(Other) ()	専攻 Major	
学位取得論文タイトル (修士号、博士号を取得の場合には必ず記入してください) Thesis title (Required for applicants who have obtained their Masters or Doctoral degrees)					

さくらネットワークに所属していますか?
Do you belong to organizations of the **Sakura Network**? For “Sakura Network”, please visit the following website;
<https://www.jpf.go.jp/j/project/japanese/education/network/> (Japanese)
<https://www.jpf.go.jp/e/project/japanese/education/network/> (English)

はい Yes
 ⇒ さくらネットワークメンバー (機関、団体) 名 : _____
 Name of the Sakura Network member (institution, organization..etc.): _____

いいえ No

日本で義務教育を修了しましたか？ Did you complete your compulsory education in Japan?	<input type="checkbox"/> はい Yes	<input type="checkbox"/> いいえ No
--	------------------------------------	------------------------------------

2. 候補者の日本語運用力について Japanese language proficiency of the candidate

日系特別条件の申請者で日本語の母語話者の方は、*印の欄を記入する必要はありません。

Applicants of special condition for Japanese descendants who are native Japanese speakers need not to fill in the columns with *.

	期間 Term	総時間 Total Hours	機関 Institution	使用教材 Textbook
* 日本語学習歴 Previous Japanese language study	From 年(yy) 月(mm)~			
	To 年(yy) 月(mm)			
	From 年(yy) 月(mm)~			
	To 年(yy) 月(mm)			
	From 年(yy) 月(mm)~			
To 年(yy) 月(mm)				

	受験年/月 Test Year/Month	JLPT 取得級 Passing Grade (Level)	認定番号 Certificate Number
* 日本語能力試験 Japanese-Language Proficiency Test (JLPT)		<input type="checkbox"/> N1 <input type="checkbox"/> 1 級 <input type="checkbox"/> N2 <input type="checkbox"/> 2 級 <input type="checkbox"/> N3 <input type="checkbox"/> N4 <input type="checkbox"/> 3 級 <input type="checkbox"/> N5 <input type="checkbox"/> 4 級	

○運用力についての自己評価 Self-assessment on Japanese language proficiency

自分の日本語運用力を表していると思うレベル(1~5)を選んで1つ✓をつけてください。

Please check ✓ one appropriate box (Level 1~5) that you think represents your Japanese language proficiency.

[日本語運用力レベル/Japanese language proficiency levels]

聞く Listening	Level 1 <input type="checkbox"/>	ゆっくり話してもらえば、自分のことや生活などに関してよく使われることばや基本的なことばが理解できる。 I can recognize basic phrases and familiar words concerning myself and daily life when people speak slowly.
	Level 2 <input type="checkbox"/>	自分の仕事や生活に関してよく使われることばや表現を聞いて理解できる。 I can understand phrases and expressions frequently used in relation to my work and daily life when I hear them.
	Level 3 <input type="checkbox"/>	仕事や生活の場面でよく話題にのぼる話やテレビ番組の内容がだいたい理解できる。 I can understand most discussions on familiar matters regularly encountered in work and daily life, and the content of TV programs.
	Level 4 <input type="checkbox"/>	いろいろなトピックのニュース、映画の内容がほとんど理解できる。 I can understand most movies and TV news covering a variety of topics.
	Level 5 <input type="checkbox"/>	幅広い話題の議論や専門の講義もあまり問題なく理解できる。 I have no difficulty understanding discussions about a wide range of topics and specialized lectures.
読む Reading	Level 1 <input type="checkbox"/>	メニューやウェブサイトなどを見て、よく知っているものや人の名前、簡単なことばがわかる。 When I look at materials, such as menus and websites, I can understand familiar items and names, as well as simple phrases.
	Level 2 <input type="checkbox"/>	短い、簡単な文が理解でき、必要なものや時間などの大事な情報を探することができる。 I can understand short, simple texts. I can find important, required information, such as time.
	Level 3 <input type="checkbox"/>	身近な話題について書かれた、決まった形の文章や手紙が理解できる。 I can understand texts and letters that consist mainly of common everyday language and which relate to familiar topics.
	Level 4 <input type="checkbox"/>	書いた人の意見や立場がわかる記事やレポート、簡単な小説が理解できる。 I can understand articles and reports in which the writers express particular attitudes or viewpoints. I can understand simple novels.
	Level 5 <input type="checkbox"/>	自分の専門に関する長い論文や複雑な小説の内容が理解できる。 I can understand the contents of complex novels and long essays related to my field of specialization.

話す Speaking	Level 1 <input type="checkbox"/>	自分やよく知っている人について簡単なことばで話すことができる。 I can use simple phrases to talk about myself and people I know well.
	Level 2 <input type="checkbox"/>	家族や周囲の人々のこと、これまでの経験などを簡単なことばや文で説明できる。 I can use simple phrases and sentences to describe my family and other people around me, as well as my background.
	Level 3 <input type="checkbox"/>	経験やこれからの予定、やりたいことなどを、基本的な接続のことばを使って説明できる。 I can connect phrases in a simple way in order to describe my background, future plans and ambitions.
	Level 4 <input type="checkbox"/>	関心のある内容について、くわしく説明したり意見やその理由を言うことができる。 I can present detailed descriptions and my viewpoint, and give reasons for my opinions on subjects related to my fields of interest.
	Level 5 <input type="checkbox"/>	研究会などで専門的な話題や複雑な話題について論理的な構成で話すことができる。 At seminars and other events, I can talk about specialized subjects and complex subjects using a logical structure.
会話する (やりとり) Oral interaction	Level 1 <input type="checkbox"/>	相手がゆっくり話してくれれば、自分のことについて簡単なやりとりができる。 When the other party speaks slowly, I can participate in simple communication about myself.
	Level 2 <input type="checkbox"/>	自分のことや仕事などについて、簡単に具体的な情報のやりとりができる。 I can communicate simple and concrete information related to myself and my work.
	Level 3 <input type="checkbox"/>	日常生活の様々な場面で、家族、趣味、仕事など身近な話題の会話を続けることができる。 I can sustain conversations on familiar topics relating to my family, hobbies, and work, within various social settings in daily life.
	Level 4 <input type="checkbox"/>	いろいろな話題の会話に途中から入って、自分の意見を言ったり普通にやり取りができる。 I can enter unprepared into conversation on a variety of topics, presenting my own views and interacting normally with people.
	Level 5 <input type="checkbox"/>	人間関係に配慮しながら、様々な立場の人となめらかで自然な会話や議論ができる。 I can participate in conversations and discussions smoothly and naturally with people from various walks of life, with consideration for interpersonal relations.
書く Writing	Level 1 <input type="checkbox"/>	誕生日や新年などの時、「おめでとう」「ありがとう」などの決まったあいさつのカードを書くことができる。 For occasions, such as birthdays and the New Year, I can write cards with specific greeting messages, such as “Congratulations” and “Thank you.”
	Level 2 <input type="checkbox"/>	簡単な内容の伝言や、友達への短い手紙を書くことができる。 I can write simple messages and short letters to friends.
	Level 3 <input type="checkbox"/>	自分の関心のある話題や旅行での経験や印象などを、短いまとまった文章で書くことができる。 I can write short summaries on topics of personal interest, or descriptions of travel experiences and impressions.
	Level 4 <input type="checkbox"/>	興味のあるいろいろな話題について、読む人にわかりやすく、くわしく説明したり自分の意見やその理由を書くことができる。 I can write clear, detailed texts on various subjects related to my interests, explaining my views and giving reasons to support my opinions.
	Level 5 <input type="checkbox"/>	重要だと思う点を強調した複雑な内容を、読む人にわかりやすい構成にして、手紙や論文が書ける。 I can write letters and essays with a structure that highlights significant points, and which helps the recipient to understand complex content.

3. 候補者の教授年数等について Candidate's resume

日本語教授年数 Japanese language teaching experience	期間 Term	機関名 Institution	対象者 Students in class		使用教材 Textbook
			年齢 Age	レベル Level	
合計 In total 年 か月 Years Months ※日本語教授年数が 2 年未 満の方は申請資格がありま せん。 * Those who have less than two years of experience of teaching Japanese language are not eligible.	From 年(yy) 月(mm)～				
	To 年(yy) 月(mm)				
	From 年(yy) 月(mm)～				
	To 年(yy) 月(mm)				
	From 年(yy) 月(mm)～				
	To 年(yy) 月(mm)				
現在の担当科目 (「日本語」) Japanese classes currently taught	科目名 Subject Taught	対象者 Students in class	担当時間数 (週・年) Loading Hours Week/Year		使用教材 Textbook
		年齢 Age	人数 Number		
				週()時間 (per week) 年()時間 (per year)	
				週()時間 (per week) 年()時間 (per year)	
				週()時間 (per week) 年()時間 (per year)	
現在の担当科目 (「日本語」以外) Subjects currently taught aside from Japanese				週()時間 (per week) 年()時間 (per year)	

日本以外での 日本語教師研修受講歴 (国際交流基金海外拠点によ る研修を含む) Training programs for Japanese language teachers undertaken outside of Japan, including programs of the Japan Foundation	期間 Term	総時間 Total Hours	機関名 Institution	使用教材 Textbook
	From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)			
From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)				

日本滞在歴 (国際交流基金での 研修を含む) Previous stay in Japan including Programs at the Japan Foundation	期間 Term	日数 Days	滞在目的・受けたグラント ・当センター研修等 Purpose; Grant Received, Training Programs at the Institute (if any)
	From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)		
From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)			
From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)			

留学の場合は、留学先機関を明記してください。
If you have studied in Japan, be sure to specify the name of institutions.

○授業以外での日本語教育への貢献

Your contribution to Japanese language teaching outside of class activities

授業以外での日本語教育への貢献があれば具体的に記入してください。(例：日本語教師会等での活動、開発した教材、日本語教育についての学会・セミナー発表等)

Please write in the space below, if you are making (or have made) a contribution to Japanese language teaching in your country outside of class activities (For example, your involvement in the Association of Japanese Language Teachers teaching materials that you have developed, papers on Japanese language education that you have presented at academic conferences or seminars, or other activities)

4. 作文 Essay in Japanese

あなたの授業の問題点や改善したい点、日本語国際センターで学びたいことについて、できるだけ具体的に、日本語で 400 字ぐらいで書いてください。今までに当センターの教師研修に参加したことがある人は、そのときに学んだことを帰国後どのように生かしたか、そして今回は研修に何を期待するか書いてください。ボールペンを使って、手書きで、自分の力で書いてください。制限時間は1時間です。これらの規則を自分で守ってください。

Reflect on your own teaching and write an essay in Japanese of around 400 characters on the problems you face in teaching Japanese and how you would like to improve them and/or what you would like to study at the Institute.

If you have taken a course at the Institute before, please describe how you are using what you have studied in your teaching and what else you would like to study at the Institute. This essay should be handwritten with a ball-point pen. You are strictly requested to work alone without any assistance from others. The time limit is one hour.

国・地域名 Name of country/region		所属機関名 Affiliated Institution	
名前 Name			

Blank area for writing the essay.

5. 申請機関の概要 Outline of the Institution

できれば機関の紹介パンフレットなどを添付してください。

Please attach some general information on your institution (introductory brochure, etc.).

機関及び日本語コースの設立の経緯と歴史 History of the Institution and Japanese Language Course
日本語コースの概要（修学年限、週当たり授業時間数、学習者数等を記入してください。） Outline of Japanese Language Course (state the length of the course, hours of study per week, the number of students)
学年暦（授業の開始月、終了月及び学期区分を記入してください。） Term / Semester (state the beginning and end months of each term or semester)

学生の構成 Attributes of Students

あなたの所属機関について、**A** か **B** のどちらかに✓を付け、その下の設問にも答えてください。
 About your institution, Please check✓ either **A** or **B**, and answer the following question.

A. 学校教育の場合
Formal Institutional education
 ↓
 生徒や学生について、1つだけ✓を付けてください。
 About students in your institution, please check✓ one appropriate box.
 小学生 Primary-school students
 中学生・高校生 Secondary-school students
 大学生 University/College students

B. 学校教育以外の場合
Education other than formal institutional education
 ↓
 年少者(小・中・高校生を含む) Children
 成人(大学生含む) Adults

日本語教育スタッフ (候補者を含め全員記入してください)
 Staff of the Japanese Language Course, including the candidate.

名前 Name	地位 Position	専任・ 非専任 Full-time or Part-time	年齢 Age	日本語 教授年数 Years of experience as a Japanese language teacher	対象者 数 Number of students	週当 たり 時間 数 Hours per week	年時 間数 Hours per year	国際交流基金 日本語教師研修 参加年 Year of participation in JF Training Program for Teachers of the Japanese Language, if applicable

